



令和4年9月22日(木)

幼保連携型認定こども園 津田このみ学園 今在家分園

うさぎぐみだより 9月号

暑さも和らぎ、秋の気持ちいい風が感じられるようになりました。

子どもたちは、園庭にやってきたトンボを捕まえようと網や帽子を待って駆け回っています。子どもたちにとって充実の秋となるよう、一緒に様々な経験を積み重ねていきたいと思います。

【芸術の秋🎨みんなでボディペインティング】

ボディペインティングの前日「明日は絵具で大きな段ボールに絵を描こうね！」と子ども達に伝えていました。ボディペインティング当日、登園してきた子ども達は「めっちゃ大きい段ボール!」「カバン、片付けたらお外?」とわくわくした様子で話していました。準備が整い、園庭に駆け出すと、「やったー!この色好き!」「これで描きたい。」と言って子ども達は自分の好きな色の絵具に手で触れたり、筆やスポンジで絵を描いたりし始めました。絵具を手や足に付けて、段ボールに手形を押ししたり保育者や友だちを追いかけたり、足の爪を塗って「お母さんとおなじ。」と目を輝かせながら教えてくれる子どもの姿も見られました。「お化粧品作る!」と張り切っていた女兒は、自分で納得のいくまでいろんな色を混ぜ合わせていました。最後には完成したものを自分の顔に塗って「お化粧品。」と鏡を見て微笑んでいました。

活動が終わった後も、子ども達は「またやりたいな。明日もする?」と保育者に尋ねていました。お迎えに来られた保護者の方にも「これ、ぺたぺたしたの。」と話してる姿が見られました。



どんな子に育ってほしい?

2歳を過ぎた子どもは食べたり遊んだり話したり...一人前の大人と同じことができるようになる時期です。そんな子どもたちにこれからどんな風に育ってほしいと願っていますか?



- ① 意欲があり何かに夢中になれる力
- ② 自分のことを好きだと思える力
- ③ 自分の気持ちを前向きにする力
- ④ 他人とのコミュニケーションをとる力



この4つの力は社会と関わり生きていくために必要な力で、乳幼児期の間にも大きく育ちます。ではどのように育むのでしょうか?

子どもをまるごと受け止めましょう。

⇒「自分は自分のままで、大丈夫」という自己肯定感を高めます。

さまざまな遊びや手伝いを日常で気に行いましょう

⇒自分で好きなことを見つけて遊ぶことのできる子どもは何をするにも積極的に動く意欲をもち、遊びの中で工夫する力も身につけます。

子どもの「やってみたい」を応援しましょう。

⇒子どもが好きなことを見つけたら、そっと見守り、その思いを受け止めましょう。親のエゴで押し付けたものはやる気の芽をつみ、押し付けと感じます。